

平成32年度までの財政収支見込み

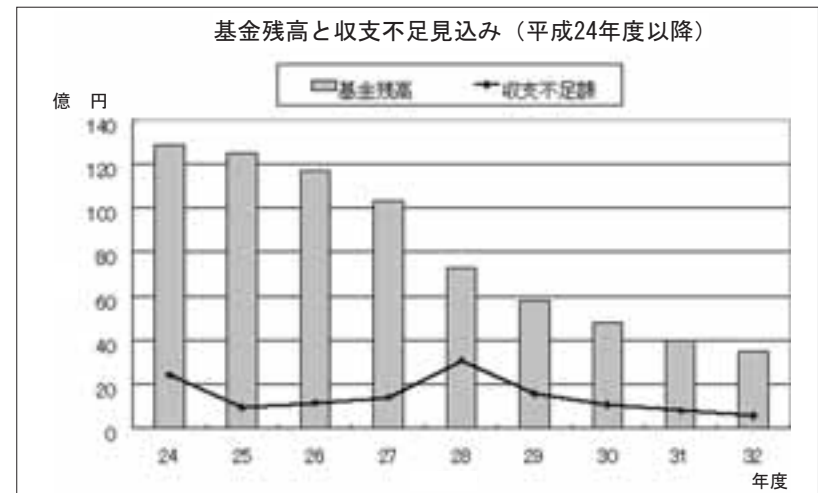
～財政の健全化に向けて～

本市では、特に震災以後、市民の皆さんからの税金や国からの交付税・補助金などだけでは必要な支出が賅えない状態(収支不足)となっており、毎年、市の貯金である基金を取り崩すという厳しい財政状況が続いています。平成23年度予算(案)も収支不足の埋め合わせのため、約10億円の基金を取り崩すこととしています。

基金には当然限りがあるので、できるだけ早くこのような状況を改善し、基金に頼らない健全な財政運営を行っていくことが必要です。このため、本市では新年度予算(案)をお知らせするこの時期に合わせ、向こう10年間の各年度の収入および支出の見込みを立て、安定した財政運営と計画的な諸課題の解決に取り組んでいけるよう、「長期財政収支見込み」を作成・公表しています。今回、平成32年度までの長期財政収支見込みを作成しましたので、その概要をお知らせします。(詳細につきましては、本市のホームページをご覧ください。)

本市は今後も収支不足と基金の減少が続く見込みです

以下は毎年の「基金残高」と「収入と支出の差額(収支不足額)」の見込みを示したものです。平成32年度までの間は引き続き収支不足が生じ、基金残高も大きく減少する見込みです。



なぜ収支不足が続くのか？

収支が不足する理由としては・・・震災の復興事業等による借金の返済費(公債費)が依然として大きいこと、高齢化が一層進むことにより、福祉や医療等に要する経費がさらに増えていくと見込んでいること、市税収入の大幅な回復は見込めないことなどによるものです。

これからの財政運営

今回の長期財政収支見込みでは、基金が底を突く見込みとまではなっていないものの、ほぼそれに近い状態の極めて厳しい見込みとなっています。このような状況の中で収支不足を改善し、安定した財政運営を行っていくために、次のような取り組みを行っています。

- ①一層の収入(財源)の確保に取り組んでいくこと。
- ②現在行っている事務や事業は常に見直しを行い、より簡素で効率的な行政運営が行えるように、さらなる行政改革を進めていくこと。
- ③新しい事業を行なう場合は、将来も含め経費の財源が確保できるかどうか見極め、どの事業から順番に取り組んでいくべきか慎重に検討していくこと。

平成23年度予算(案)概要の「健康で安心して子育てのできる住み良いまちづくり」は1年だけですべてを実現できるものではありません。厳しい財政状況の中でも継続して取り組んでいくことができるよう、慎重に財政運営を行います。

GATV 広報番組ガイド

3月後半

番組名	放送時間(15分)	備考
オープニング	前田公園から	8:30
トピックス	第28回造形展 第4回あしや駅伝大会	12:00 16:00 18:15
特集	芦屋病院 検査棟オープン	22:45
お知らせ	第23回芦屋さくらまつり さくらまつり写真コンクール	※DVD VTR 貸出可
エンディング	「芦屋の四季・70選」より	

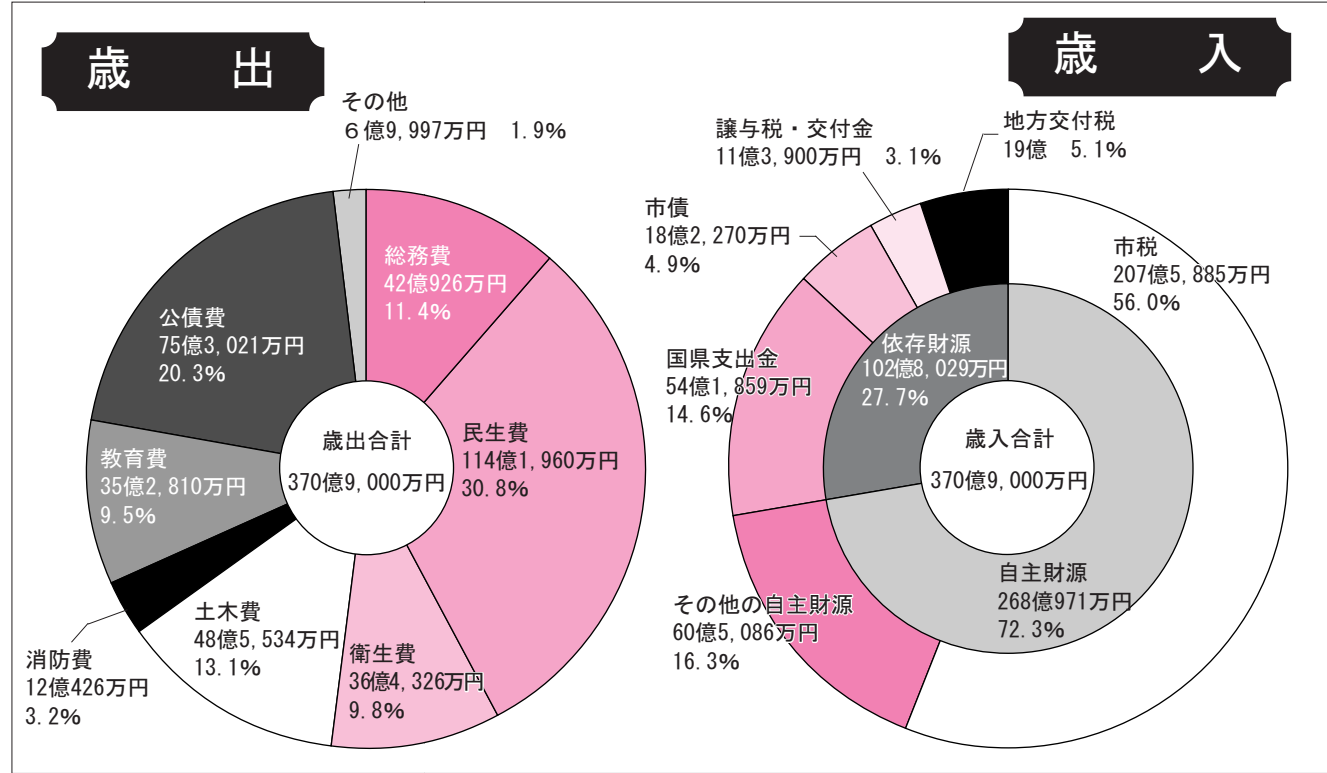
■アナログ放送は9chで、地上デジタル放送は11chでご覧ください。
■番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ 緑ケーブルネット神戸芦屋(J-COM)カスタマーズセンター ☎0120-999-000

平成23年度 予算(案)

区分	予算額	増減率(%)
一般会計	370億9,000万円	11.6
特別会計	221億8,890万円	2.1
国民健康保険事業	93億6,200万円	3.8
下水道事業	32億6,800万円	7.0
公共用地取得費	1億4,000万円	56.3
都市再開発事業	1,990万円	11.9
老人保健医療事業	0円	皆減
駐車場事業	3億4,200万円	0.1
介護保険事業	68億3,000万円	6.0
宅地造成事業	6億9,900万円	0.0
後期高齢者医療事業	15億2,800万円	17.1
企業会計	116億780万円	23.9
病院事業	82億4,105万円	35.8
上水道事業	33億6,675万円	2.1
財産区会計	1,000万円	2.9
合計	708億9,670万円	3.0

平成23年度の主な新規事業など

事業名	単位数
【福祉・医療】	
障がい者歯科診療	772
【教育】	
市立幼稚園子育て支援事業	1,987
幼稚園空調化事業	6,307
幼稚園窓ガラス飛散防止フィルム設置事業	422
学習指導要領改定に伴う教師用指導書整備事業	1,270
美術博物館管理運営委託事業	6,980
【都 市】	
公園トイレのバリアフリー化関連経費	5,100
公営住宅ストック総合改善事業	2,539
位置情報通知システム導入に要する経費	893
JR芦屋駅南地区調査業務	800
【その他】	
婦人保護事業経費	474



【総務費】 市役所全体の事務費や税金の徴収、戸籍および住民票、選挙等に要する経費で、戸籍住基等システム改修費等の増加のため、1.2%、約五十七万円の増加となります。

【民生費】 福祉等に要する経費です。子ども手当支給費等の増加のため、10.0%、約十億三千三百四十九万円の増加となります。

【衛生費】 保健やこみ処理などに要する経費です。市民マナー条例関連事業等の増加のため、1.9%、約六千六百九十四万円の増加となります。

【土木費】 道路や都市計画、公営住宅などに要する経費です。南芦屋浜道路整備事業等の減少のため、6.0%、約三億八百四十八万円の減少となります。

【消防費】 消防救急や災害対策に要する経費です。消防車両整備事業等の増加のため、8.1%、約九千六十九万円の増加となります。

【教育費】 学校や幼稚園、その他社会教育に

市民1人当たりに使われるお金は395,340円

項目	金額(円)	割合(%)
総務費	44,866	11.4%
民生費	121,721	30.8%
衛生費	38,833	9.8%
土木費	51,753	13.1%
消防費	12,836	3.2%
教育費	37,606	9.5%
公債費	80,264	20.3%
その他	7,461	1.9%
合計	395,340	100%

※1月1日現在の推計人口93,818人で試算しました

要する経費です。市史編纂事業の完了や図書館施設整備事業の進捗に伴う事業費の減少のため、0.4%、約千四百五十五万円の減少となります。

【公債費】 市債借入金元金や利子の支払いに要する経費です。二十二年度は償還期限を迎える市債が増加したことにより一時的に予算額が増加しました。

【その他】 前記以外の経費で、議会費や商工費などが含まれます。7.5%、約四千八百七十七万円の増加となります。

たが、二十三年度は平年並みの償還額に戻るため、43.7%、約五十八億四千七百五十五万円の減少となります。

平成23年度 予算(案) 概要

問い合わせ 財政課 ☎38-2011

市の予算は、一般会計・特別会計・企業会計・財産区会計の4種類の会計で構成されており、平成23年度の予算総額は708億9,670万円となります。今回はその中でも、こみ処理、住宅や道路・公園の整備、教育、福祉といった市民の皆さんの日常生活に関わる一般会計の予算(案)についてご説明します。

一般会計の予算額は三百七十億九千万円で、前年度に比べて四十八億八千万円、11.6%の減少となっています。

非常に厳しい財政状況の中にあっても、「医療」「福祉および教育」に重点を置き、既存の事務事業に必要な予算を措置するとともに、中学三年生までの入院医療費の助成、市立幼稚園での預かり保育や、全園空調化の実施を進めています。

また、市民マナー条例関係では、キャナルパーク・芦屋川・市内各駅でのマナー向上のための啓発巡回警備を実施し、南芦屋浜地域での都市基盤整備事業を進め、健康で安心して子育てのできる住み良いまちづくりを進めていきます。

なお、歳入・歳出それぞれの代表的な予算については次のとおりです。

【市税】 市の歳入で最も多く、全体の56%を占めています。前年度との比較では、固定資産税および都市計画税等の増加が見込まれるため、1.0%、約二億四千八百九十九万円の増加となります。

【譲与税・交付金】 自動車重量税や地方消費税交付金などです。地方特別交付金などが減少するため、12.8%、約一億六千六百六十万円の減少となっています。

【地方交付税】 普通交付税と特別交付税があり、26.7%、四億円の増加となります。

【国庫支出金】 国や県から交付される補助金や



宮川

予算を家計にたとえると...

(雑収入など含めて月収40万円の場合)

歳入	一般会計予算額 (千円)	家計に置き換えた場合の月間支出 (円)
自主財源	市 税 20,758,856	給料収入 224,000
依存財源	財政収入、 使用料・手数料収入など 6,050,859	資産運用や預貯金の 引き出しなどの雑収入 65,000
	国・県支出金、地方交付税、 地方譲与税など 8,457,585	親などからの援助 91,000
	市 債 1,822,700	借入金 20,000
歳入の合計	37,090,000	収入の合計 400,000

歳出	一般会計予算額 (千円)	家計に置き換えた場合の月間支出 (円)
義務的経費	人件費 8,210,822	食費 89,000
	扶助費 5,822,942	医療費など 63,000
	公債費 7,530,209	ローンの返済 81,000
	物件費 5,923,025	光熱費や日用品など 64,000
	維持補修費 2,920,085	家の増改築や 電気製品の購入など 31,000
	普通建設事業費 2,920,085	子どもへの仕送り 38,000
	繰出金 3,488,100	町内会費・知人への援助等 26,000
	補助費等 出資金・貸付金 2,456,963	貯金 7,000
	積立金 697,854	不意の出来事への備え 1,000
	予備費 40,000	支出の合計 400,000
歳出の合計	37,090,000	

市制施行70周年記念写真集 ◆ 芦屋の四季・70選

市民の皆さんの写真でつづった市制施行70周年記念写真集「芦屋の四季・70選」を発行・発売しています。現在の芦屋風景を、お手元に1冊残しておかれませんか。

記念写真集「芦屋の四季・70選」は、下記で購入していただけます。

■規格 菊(A4)判・120ページ(表紙等別)/上製本・カラー印刷 ■価格 1,000円 ■発売所 行政情報コーナー(市役所北館1階)・ラポルテ市民サービスコーナー

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

ルナ・ホールの催し

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

第10回芦屋市民オペラ「学生王子」

「学生王子のセレナーデ」ほか、美しく美しいメロディーに満ちたなつかしの名作ミュージカル

■日時 3月21日(月)祝後2時開演 ■会場 ルナ・ホール 全席自由 ■出演等 竹内直紀・日下部祐子・井上敬典ほか/合唱団コール・セコインデ、芦屋合唱協会、芦屋市民オペラ合唱団、波多野澄子バレエ団、芦屋交響楽団/指揮:西牧潤/演出:辰寿広美 料金 3,500円 チケット発売所 市民センター事務所・市役所売店・ローソンチケット(Lコード 58255)

第60回市民寄席「桂米團治 独演会」

■日時 4月15日(金)午後6時30分開演 ■会場 ルナ・ホール<全席指定>

■出演者・演目 桂米團治「七段目」「一文笛」「代書」/桂歌之助「道具屋」/桂さうば「手水廻し」 料金 当日券3,000円(前売券2,500円) チケット発売所 市民センター事務所・市役所売店・ローソンチケット(Lコード54575)